

平成30年度 燧灘カタクチイワシ卵稚仔調査

(第4回 6月上旬分)

香川県水産試験場 環境資源部門 (藤田)
TEL 087-843-6511/ FAX 087-841-8133

○カタクチイワシ卵の出現状況

卵が前年より多く、平年より大幅に多く出現した。

前年	平成29年6月1日	(7点の平均)	87.8 個/m ³
前回	平成30年5月18日	(17点の平均)	122.0 個/m ³
今回	平成30年5月31日	(7点の平均)	152.1 個/m ³
※6月上旬の平年値			41.7 個/m ³

○カタクチイワシ仔魚の出現状況

仔魚が前年より多く、平年より大幅に多く出現した。
初期摂餌に成功したと考えられる大きめの仔魚が多かった。

前年	平成29年6月1日	(7点の平均)	18.7 尾/m ³
前回	平成30年5月18日	(17点の平均)	23.9 尾/m ³
今回	平成30年5月31日	(7点の平均)	26.4 尾/m ³
※6月上旬の平年値			7.9 尾/m ³

○プランクトン調査

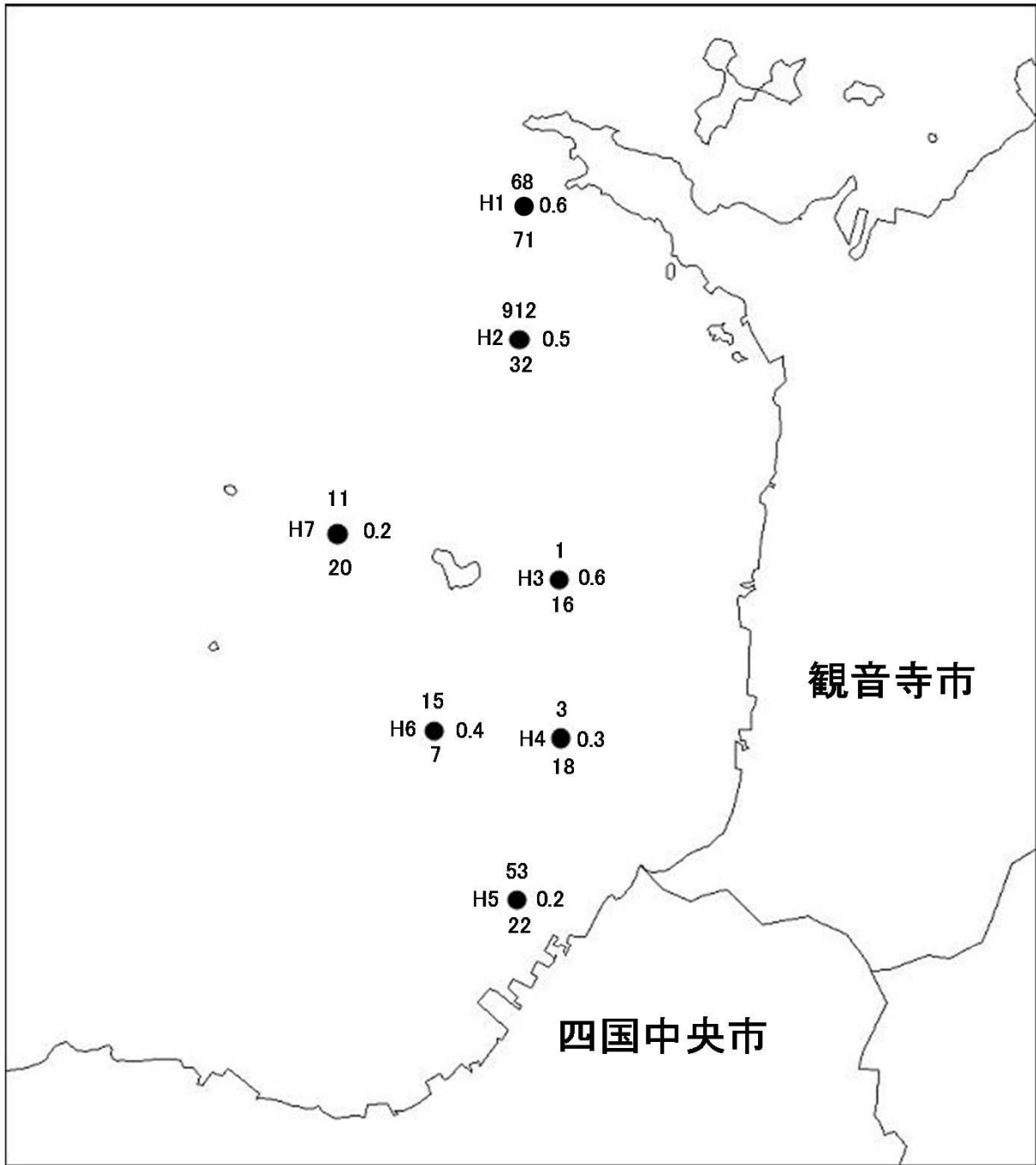
主に夜光虫、ウミタル類が多く出現した。
カタクチイワシの餌となるカイアシ類量は平年よりやや多かった。

○クラゲ調査

餌料競合種であるカブトクラゲは少なく、卵を捕食する可能性のあるミズクラゲはやや多く、仔稚魚を捕食する可能性のあるアカクラゲは多めに出現した。

次回の調査は6月15日(金)に実施予定

カタクチイワシ卵稚仔採集状況(2018/5/31)



●の上側がカタクチイワシ卵数/m³を、
下側がカタクチイワシ稚仔数/m³を、
右側がカイアシ類量(ml/m³)を示す。

※カイアシ類量は、プランクトン採集量

(0.335mm以上)に占めるカイアシ類のおおよその割合から算出した概算値。

※卵稚仔数は小数点以下第一位を四捨五入した値。

21 ← 卵数

凡例 ● 0.6 ← カイアシ類量

5 ← 稚仔数

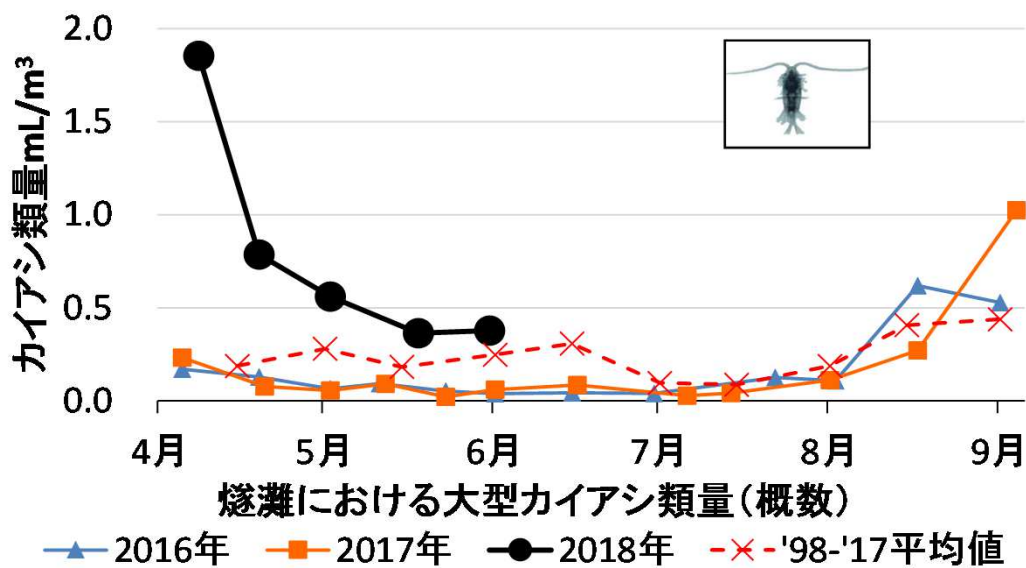
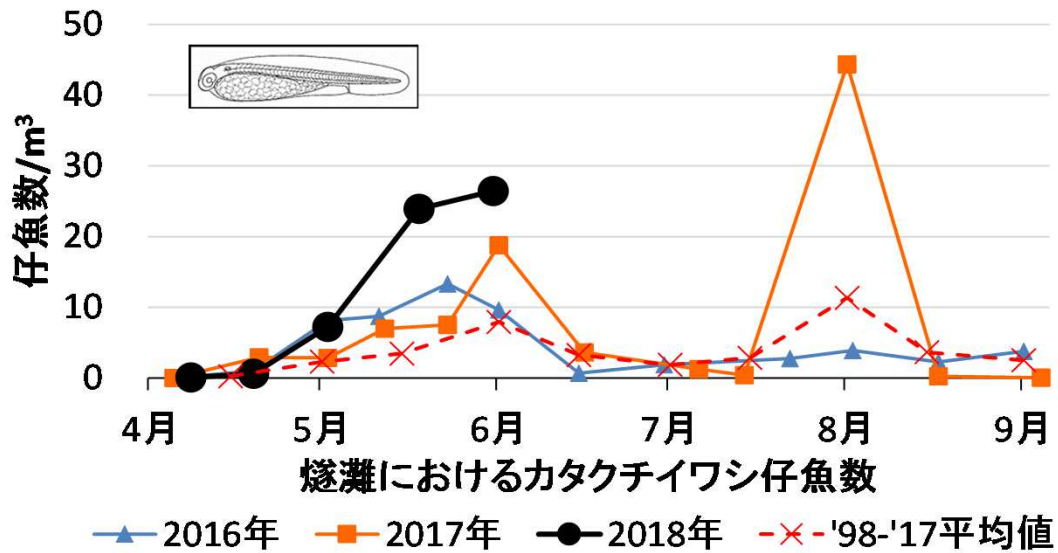
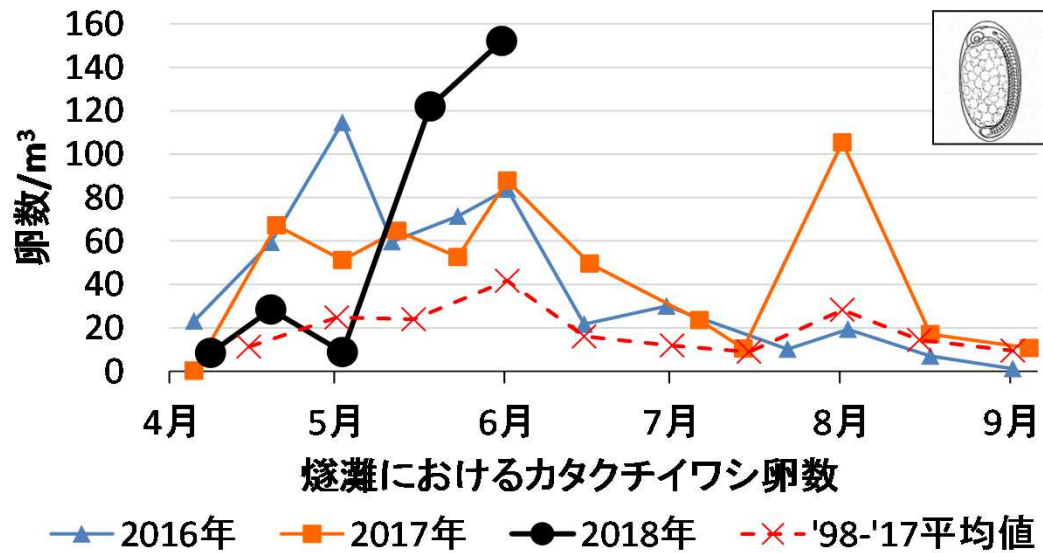
平成30年度燧灘カタクチイワシ卵稚仔調査(4回目)

調査日: 2018/5/31

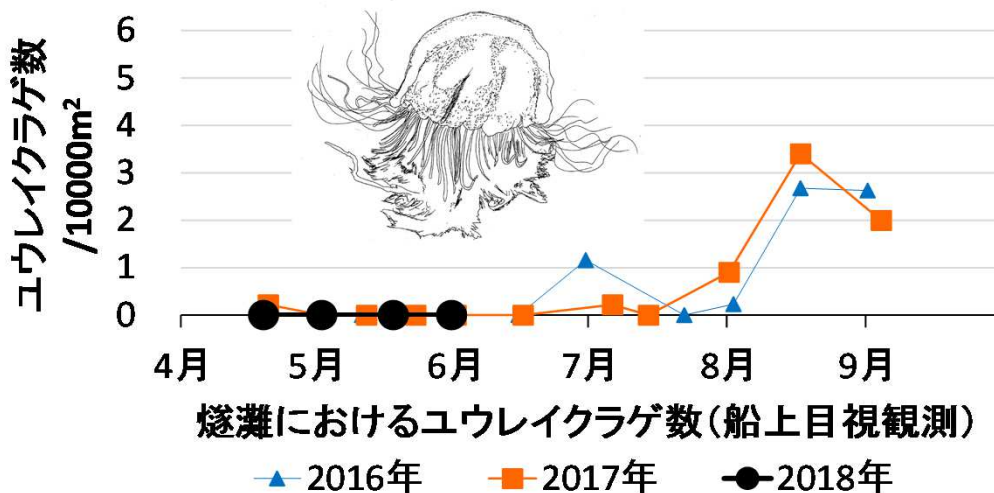
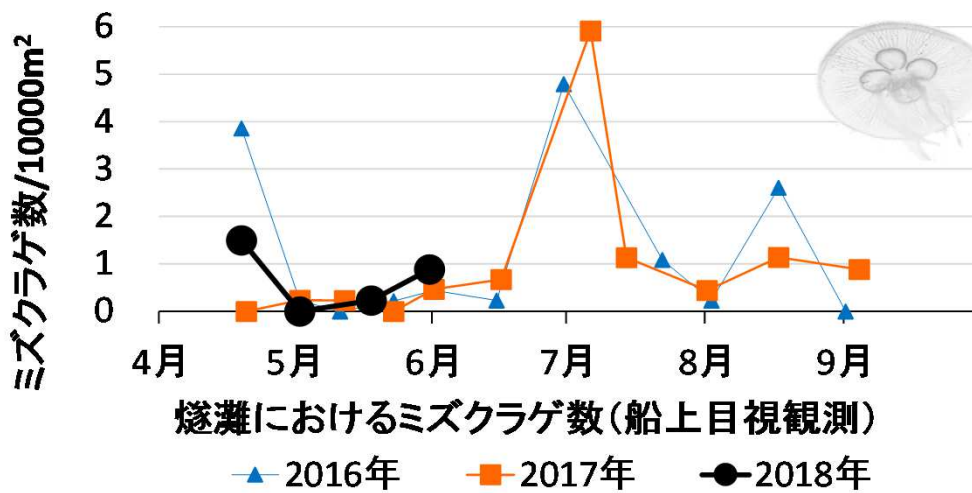
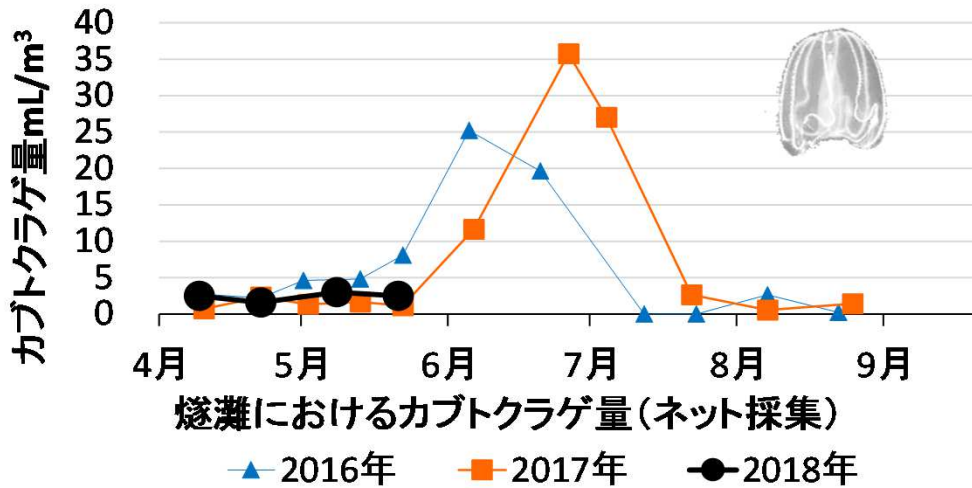
S T	曳網水深 (m)	表層水温 (°C)	カタクチ卵	マイワシ卵	その他卵	カタクチ稚仔	マイワシ稚仔	その他稚仔
H1	20	20.4	68	0	0	71	0	6
H2	20	20.6	912	0	4	32	0	11
H3	20	20.1	1	0	0	16	0	10
H4	20	20.5	3	0	1	18	0	8
H5	20	20.6	53	0	3	22	0	3
H6	20	20.5	15	0	0	7	0	2
H7	20	20.1	11	0	1	20	0	4
平均		20.4	152	0	1	26	0	6

※採集数はm³当たりの数

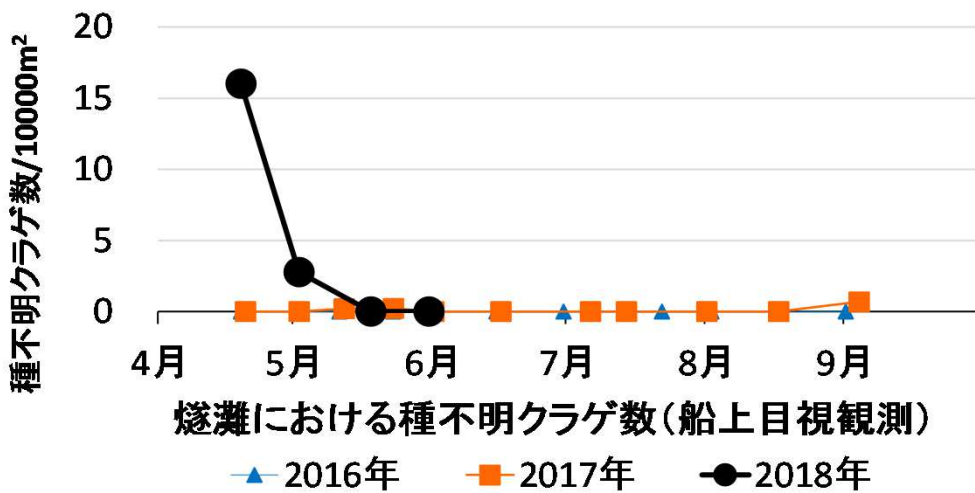
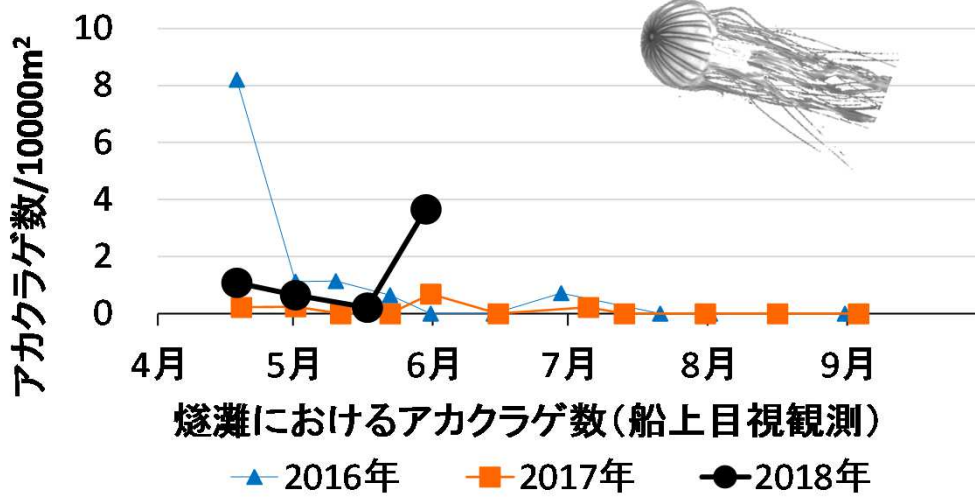
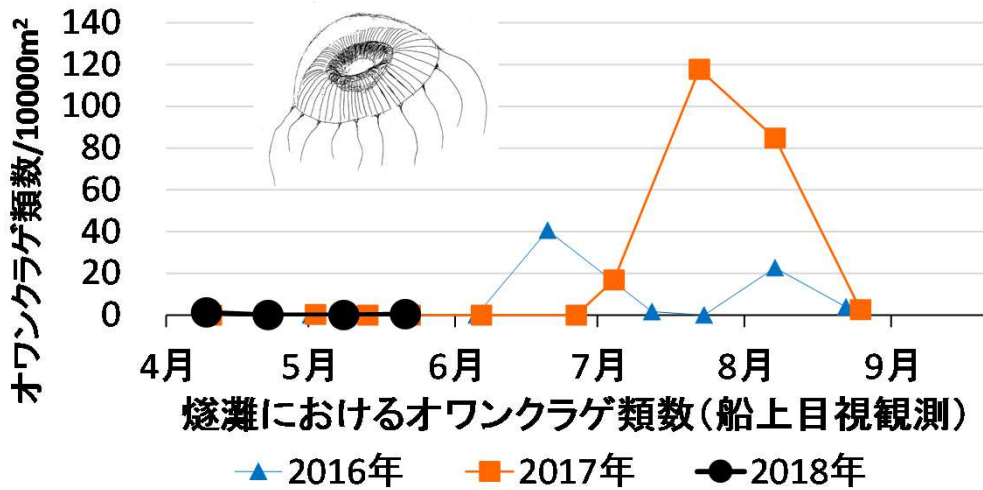
※卵稚仔数は小数点以下第一位を四捨五入した値



※カイアシ類量は、プランクトン採集量(沈殿量)に占めるカイアシ類のおおよその割合から算出しています。餌料環境の目安としてご参照ください。



※カブトクラゲは丸特Bネットによる全定点の平均採集数。その他はH1～H7の7点における平均船上観測数(船速平均7ノットで3分間航走する間に、船側両舷5mで視認できるクラゲの数)。クラゲ量の目安としてご参照ください。
 ※この報告の情報により不利益等が発生した場合において水産試験場は何ら責任は負いません。



※H1～H7の7点における平均船上観測数(船速平均7ノットで3分間航走する間に、船側両舷5mで視認できるクラゲの数)。クラゲ量の目安としてご参照ください。

※この報告の情報により不利益等が発生した場合において水産試験場は何ら責任は負いません。